こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 371-9164 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp ２０２１年 12 月 19 日

80人学級で「対話」とはこれいかに!?

市教委の『『新しい』高校教育』を問う

南区内、御前通久世橋通り付近にある市立塔南高校が、御前九条上る、洛陽工業高校跡地に移転します。名前も、平安時代にちなんで「開建高校」に変えるとのことです。移転を機に、教育委員会は、「新しい」普通科系教育を、と言っています。井上議員と市教委との質疑応答を紹介します。

※ ※

●井上議員＝市教委の方針では、普通教室四つ分ぐらいの広さの教室で80人で勉強とのことだが、80人学級で行き届いた教育ができるのか。

○市教委＝臨機応変に区切って小人数クラスに分けたりする。講義だけでなく「対話・協働の探求的な学習活動」に取組む。

●ホームルームや担任は？

○一クラスとしては80人。担任は3人で。

●80人で対話ができるのか。「楽しみながら夢中に学ぶ」とのことだが、経産省は、タブレット推進で「個別最適化」との方針。勉強が分からないとき、個人責任にされないか。対話と個別の関係は？

○対話・協働と個別最適化とは矛盾しない。

●人材育成とのことだが、人格の完成が教育の目標。講義を基礎としたうえで、少人数学級での対話と協働で基礎学力の底上げを。

洛陽高校跡地。発掘調査が行われた時の写真です。

井上議員「クーポンより現金を」→市長「現金で一括して支給」

国の、「子ども一人に5万円の現金＋5万円分のクーポン（商品券）支給」との方針を受け、市でもその具体化の為の補正予算が全会一致で決まりました。しかし、岸田内閣が揺れています。全国的に、現金支給を求める声が広がっているからです。一方、京都市長は全然声を挙げず、国追随ですが、14日、「10万円を一括で現金で」と記者会見しました。市の予算では、事務費は、現金支給で1億5千万、クーポンは8億5千万、計10億円。全国的には、このクーポン事務だけで一千億円近くもかかります。

9日の市議会本会議では、共産党から、2回とも現金なら事務費は計3億円で済むと、予算組替えを提案。しかし他党が同意せず。その後、井上議員が討論。「生活が大変な、子どものいない世帯にも支給を。クーポンでは事務費がムダ。現金10万円の方が。市の実務も市民も事務費も、三方よし。市長はもっと自主性を」と指摘していました。

公共工事現場調査

「生活関連公共事業推進連絡会議」（京建労や公務員の労働組合等で構成）の皆さんたちと、京都市の公共工事の現場を視察・調査してきました。西京区にある市立芸術大学が京都駅の東北側・崇仁地域に移転工事中で、その現場です。元請企業と懇談し、工事現場でのコロナ対策や、下請企業の労働者の賃金労働条件、社会保険、退職金等々の現状についてお聞きしました。下請けには京都の企業を選びたいが、業種によっては京都に該当の会社がない場合もあり、やむなく他都市の業者を選んでいる、等の話もありました。京都市は、元請企業と契約するだけで、普段、下請け企業の実態にはあまり関心がありませんが、懇談の中でも、そういう現状も伺われました。

※ ※

北陸新幹線が現京都駅を通ることが決まっており、下京・南区内での通過や立退きが危惧されます。芸大工事現場付近を通る可能性もあります。立退きを避ける為、地下深く潜って通る案も検討されているようですが、東京の地下自動車道工事では、地下深くでも、地上に穴が空いたりする事故が起きて、今、大問題になっています。